

●ブレーキ**<スーパースポーツ用電子制御式“コンバインド ABS”>**

一般にスーパースポーツモデルは、ツーリングモデルなどと比較し、車両のコンセプト上、軽量、ショートホイールベース、高い重心位置という設計が採用されます。こうした設計によって優れた運動性能が発揮できる反面、加減速時のピッチングモーメントが大きく、ABS の制御システムとしては、制御が困難なモデルでした。

そこでHondaは、これまで培ってきた前・後輪連動ブレーキシステムやABSの技術を活かし、世界初のスーパースポーツ用電子制御式“コンバインド ABS”を開発。従来のスポーツモデルに採用している機械制御式のコンバインドブレーキシシステム(前・後輪連動ブレーキシシステム)と、ABS(アンチロック・ブレーキシシステム)の双方を電子制御化することで、制動時における前輪と後輪への制動力配分をより緻密にコントロールすることを可能にし、スーパースポーツモデルへの最適化を図りました。

この電子制御式“コンバインド ABS”は、基本的なライディングスキルを持っているライダーであれば、簡単な操作でホイールロックを防ぐことができ、ブレーキング時のコントロール性の一層の向上を図るとともに、急制動の際にも、より自然な車体姿勢を可能な限り保持することを目標にしています。

スポーツ走行のハードなブレーキングの際にもより優れた車体安定性を発揮でき、ライダーに大きな安心感をもたらすシステムです。

スーパースポーツモデルならではの優れた運動性能を損なうことなく、より高度なコントロール性を発揮できる先進のブレーキシシステムです。

※電子制御式“コンバインド ABS”はあくまでもブレーキ操作を補助するためのシステムです。制動時には前・後輪のブレーキを同時に操作することがブレーキングの基本です。また ABS 機能は制動距離を短縮させるためのシステムではありません。ABS を装備していない車両と同様に、コーナー等の手前では十分な減速が必要であり、無理な運転までは制御できません。

※電子制御式“コンバインド ABS”は、作動時におけるキックバック(揺り戻し)をライダーに感じさせず、スーパースポーツならではのフィーリングを楽しめるようにしています。